

学校施設が抱える多くの課題に的確に対応するためには、各地方公共団体が、域内の学校施設全体の中長期的な整備方針「学校施設整備基本構想」を策定し、これに基づき計画的に整備を行うことが望ましい

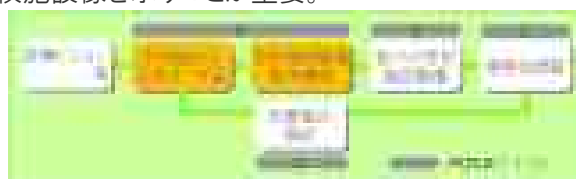
第1章 背景

- ・今日の学校施設整備は、多様化する教育内容・方法への対応、耐震化、防災機能強化、地域コミュニティの拠点化、老朽化対策、バリアフリー化、児童生徒数の減少への対応等、課題が山積。
- ・山積する課題に的確に対応するためには、域内の学校施設全体について中長期的な整備方針を策定し、計画的で一貫性のある整備を行うことが必要。

第2章 学校施設整備基本構想の在り方

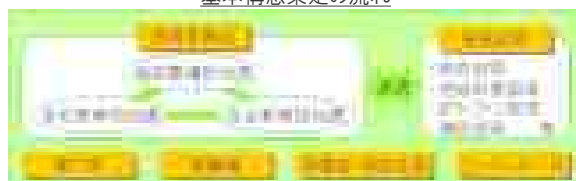
1. 学校施設整備基本構想の位置づけ

- ・「学校施設整備基本構想」とは、域内の学校施設全体の中長期的な整備方針。
- ・基本構想を検討するに当たっては、まず、中長期的に目指すべき学校施設像を示すことが重要。
- ・その上で、域内の学校施設の現状把握を行い、目指すべき姿の実現に向けた域内の学校施設全体の中長期的な整備方針を基本構想としてまとめる。
- ・個々の学校施設の整備後も、使用状況等の調査、改善策の検討を行い、目指すべき姿や基本構想の見直しを行うことが重要。



2. 学校施設整備基本構想の検討体制

- ・関係部局、専門家、コーディネータ、教職員、保護者や地域住民等、幅広い関係者の参画が重要。



3. 学校施設整備基本構想策定後の公表の重要性

4. 学校施設整備基本構想の計画期間、見直し

第3章 学校施設整備基本構想の策定

1. 学校施設の目指すべき姿の検討

- ・学習指導要領や各地方公共団体が目指す教育等を実現する上で学校施設に必要な機能を検討。
- ・教育面への対応だけでなく、学校施設として備えるべき基本的性能（耐震化、老朽化対策、バリアフリー化等）も含め、総合的に検討。

2. 学校施設の目指すべき姿に基づく現状把握

3. 学校施設整備基本構想策定の考え方

- ・現状把握により浮かび上がった、整備等により対応する必要がある課題について、運営上の工夫による解決、改修による長寿命化の可能性、人口動態を踏まえた検討、複合化、ブロック化による対応等、多角的な視点から整備方針を整理し、基本構想として取りまとめる。

4. 年次計画に落とし込む際の考え方

- ・優先順位や財政状況など地域の実情を踏まえ、基本構想に基づいて年次計画を策定。

5. 学校施設整備基本構想の有効性

- ・客観性の高い基本構想は、中長期的な予算の確保や住民の理解獲得等に有効。



第4章 基本構想策定・活用プロセスの事例紹介

- ・基本構想策定・活用のプロセスの例を示すとともに、以下の地方公共団体における基本構想に類似した先駆的な取組を紹介。

東京都板橋区 「板橋区立学校施設あり方検討委員会報告書」

東京都世田谷区 「新たな学校施設整備基本方針」

東京都北区 「北区小・中学校整備方針」

東京都品川区 「品川区学校改築計画指針」

宮崎県宮崎市 「宮崎市学校施設整備基本方針」

福岡県嘉麻市 「嘉麻市学校施設整備基本構想」